

平成24年度学内版 GP 成果報告書

取組名	就業と関連づけた生物保全（環境保全）教育
実施組織	理学部生物科学科
実施責任者	藤山 静雄
取組の目標	生物保全教育を就業と関連づけて理解し、実際の職業としても魅力を学ぶ。
1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)	<p>自然の豊かな信州で生物保全活動について学び、その活動をする仕事に使命感を持ってつくるための教育を行うことを目標に生物環境教育、企業で実務体験を積み実践に役立つ人材を社会に出すことを目標に実施した。</p> <p>具体的実施項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、学生の実戦能力を高めると同時に、就業につなげるため、企業1（KK環境アセスメントセンター（EAC））の協力を得て、動植物の生息、環境調査の実際を体験し、生物保全の最前線で行われている仕事を実際に体験した。（写真1-9）学生には、体験報告をもらった。 2、企業2（（有）エコシス）の協力を得て、絶滅危惧種の調査を経験した。（写真10-13） 3、子供たちへの保全教育を通して、生物保全に関する知見の集積、啓蒙活動の重要性を学んでもらった。（写真14-15） 4、子供達へ生物画を教えることを通しての生物保全教育を実施した。（写真16-17） 5、環境保全の学習会を3回企画・開催した。（写真18）具体的な活動内容の例を説明、紹介した。
2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望	<p>各種の教育活動が多いため、実参加者実数が10名弱となったが、参加学生は大変熱心で、長期間活動に参加したため、企業からも高い評価を得ている。1名の学生は、このことが縁で環境関連企業に就職できた。こうした活動の参加者は多人数にはならないが、それなりのニーズがある。</p> <p>参加した学生は主体性を持ち、講義だけから未体験なことを体験でき、その結果、大変熱心になり意欲もわくので是非後継プログラムができ更に就業に繋がりたいと期待する。</p>